

『大分市佐賀関地域大規模火災』義援金のお願い

日頃より、よつ葉生協を支えていただいておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。
令和 7 年 11 月 18 日大分市佐賀関地域で発生した住宅火災は、折からの強風を受け、4 万 8,900 平方メートルを焼失させ、1 人が死亡、170 棟が焼損、最大で 121 世帯が避難しており、甚大な被害が発生しました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。
被災地域では、建物の撤去・再建・インフラ復旧・心理的なケアなど、多くの時間と資源が必要となります。

よつ葉生協では、被災地域の日でも早い復興と、被災された方々の生活再建に向け、『大分市佐賀関地域大規模火災』義援金に取り組みます。

お預かりした義援金は、大分市に集約し被害の大きい自治体（市町村等）に寄附し、被災された方々への義援金・民間団体が行う被災地の生活支援等の活動に役立てます。

生協の「支えあう・助け合う・分かち合う」共同の精神が活かされる時と考えます。各種募金が継続中ではありますが、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

*所得税の寄付金控除の適用を希望される方は、共同募金会、赤十字社の募金にご協力をお願いします。

よつ葉生活協同組合 理事会

募金申込番号 **865**

受付期間は

12/8(月)～1/9(金)まで

【申し込みの記入例】

提出用注文用紙の裏側、10 品以上の注文欄に
865 番(1 口 100 円)と記入して下さい。

10 品以上の記入欄									
8	6	5	:	1					
:	:	:	:	:					
:	:	:	:	:					

・出資金積立欄 1 口=100 円									
9	9	9	口数	:	:				
:	:	:	:	:	:				

お問い合わせ よつ葉生協 組合員組織部まで
TEL 0120-07-1613

2025.10.30(木) 栃木県生活組合連合会くらし部会学習会 上野和子さん講演会

戦後80年 対馬丸の悲劇を知っていますか



上野和子さん

81 年前に起こった学童疎開船対馬丸の悲劇を、生還者新崎美津子さんの娘さん(上野和子さん)の生のことで聴講できる機会を得、秋晴れの 10 月末、宇都宮市文化会館を訪れました。

講演の内容は、和子さんの柔らかな語り口とは裏腹に壮絶なものでし

た。その口調からは対馬丸の悲劇のことを、そして戦争のことを忘れないように伝え続けていかなければならないという固い意志を感じました。

第二次世界大戦中に、子どもや女性を中心に疎開した話は日本人であれば一度は耳にしたことがあると思います。

対馬丸はその疎開船のひとつ、沖縄から長崎へ向かった船です。当時、沖縄近海では 26 隻の船が沈められ、危険海域だということをわかった上での出航でした。近いうちに米軍が沖縄に上陸してくることを予測し、その地上戦に備えて軍隊を沖縄に派遣するための口減らしとして、学童や女性が疎開対象となりました。

上野和子さんの母、当時24歳の新崎美津子さんは国民学校の教師

で、学童引率で乗船していました。

学童と言っても 8～10 歳の子どものほとんど。それ以上は戦力とみなされ疎開禁止でした。当然、危険な海域を航行する船に自分の子どもを乗せる親は大きな心配と不安の塊、それでも美津子さんは国の命令に従い親御さんを説得し、子どもたちを乗せて長崎まで送り届けるという重責を負うしかありませんでした。

昭和 19 年 8 月 21 日 18 時 35 分、学童疎開船対馬丸は疎开学童を含む 1,788 名を乗せて出航しました。

初めて沖縄を出る子どもたちも多く、遠足にでも行くように楽しんでいったという事実が、現代に生きる私たちの胸をも締め付けます。

そして翌 22 日の夜、悪石島付近で待ち伏せしていたアメリカの潜水艦ボーフィン号に魚雷攻撃されるという悲劇に見舞われます。攻撃された瞬間、船首から船尾まで 130m ある巨大な船が真ん中から真っ二つに割れ、多くの乗船者は台風で荒れた海に投げ出され、沈没の渦に巻き込まれ、寝室にいた子どもたちはほとんど脱出できずに船と一緒に海に沈んでいきました。その間、たった 11 分。美津子さんは同乗していた9歳下の妹さんと一緒にいたところを攻撃され、つないでいた手が離れたのが妹さんとの最後となってしまいました。

美津子さんは海に投げ出された後、流れてきた板きれを頼りに4日間漂流し、漁船に助けられて一命をとりとめたものの、多くの子どもたちが亡くなったことへの責任の重さから逃れられず、故郷沖縄に帰ることができなくなる大きな心の傷を負いました。実の妹を亡くしたことを公に悲しむことも憚られ、対馬丸について長い間口を閉ざすことになりました。対馬丸は 1,484 名の犠牲者を出し、81 年たった今も水深 871mの海底に沈んだままです。戦後、美津子さんは沖縄には帰らず 2011 年に 90 歳で亡くなるまで栃木で暮らしました。

生還した美津子さんは後年、長く心の奥にしまい込んでいた感情を、ふと「私は生きるべきではなかった」と吐露したそうです。娘である和子さんもそれまで美津子さんの感情に気づくことがなかったくらい、心に鍵をかけて生きていらっやっただけでしょう。しかし、周囲の熱心な呼びかけにより、85 歳の頃から対馬丸についての講演会を 4 回ほど行っています。重い口を開こうとしたその決意は、戦争経験がなく平和な時代を生活している私たちには到底想像もつかないほどのものだったと想像します。

後年、攻撃した潜水艦ボーフィン号がハワイに展示されていることを知った和子さんは、美津子さんを連れて現地を訪れ、実物を目にしました。その時、普段は穏やかで理性的な美津子さんが顔を真っ赤にし、「ううううう…」と地の底を這うよ



うな低い声を発したそうです。対馬丸乗船者を悲劇に陥れた潜水艦と対峙したことで、心の底にあったどうしようもない感情が湧き出てきたのでしょうか。後にこの時の感情を短歌に残しています。

美津子さんが亡くなった後、遺品を整理していると日々使っていたノートや紙の端切れに 700～800 首の短歌が出てきたそうです。日常のことを綴った短歌の中に、対馬丸事件のことを詠んだ歌がいくつもありました。

よつ葉文庫の蔵書に和子さんの著書、「蕾のままに散りゆけり(No. 1318)」があります。

蕾のまま逝ってしまった子どもたちを思う美津子さんの短歌がそのタイトルとなっています。ぜひ一度お手にとってみてください。

そして、戦争のことを考える時間を作ってみてください。今年は戦後 80 年。いつもより少し積極的に戦争のことを考える人が増えれば戦争の犠牲者への弔いの一部になるかもしれません。

(理事 篠原)



◇報告 つくば北条街歩き 10月22日（水）

毎年開催している街歩き。 今年は茨城県つくば市北条。

北条は筑波山参詣道として日本の道百選にも選ばれている【つくば道】の起点で、江戸城の鬼門を守る祈願所があった筑波神社の門前町として栄えた街です。

最初に訪れたのは、無料休憩所として主に土日開放されている「ふれあい館」（旧田村家店蔵）で、北条街づくり振興会の会長さんより北条の歴史や見どころについてのお話を伺いました。

次に案内して頂いたのは「矢中の杜」（旧矢中家住宅）で、ここは北条出身の実業家矢中龍次郎氏によって建てられた昭和初期の近代和風住宅です。約 770 坪の敷地に、本館居住棟・別館迎賓棟の 2 棟の建物と庭園があり、建築当時のまま残っている豪華絢爛な調度品や昭和の暮らしを感じられる道具の数々が多数展示されておりとても興味深く見学出来ました。特に別館は「皇族のような上流階級の人々を迎賓できるように」という意図で建てられており、中でも食堂は一見の価値ありです！ こちらは毎週土曜日に一般公開されているので是非多くの方に見ていただきたい建物です。

最後に案内して頂いたのは「宮本家店蔵」です。宮本家は昭和 40 年代前半まで醤油の醸造と販売をしていた商家で、屋号は「宮清(みやせい)」といい、現存する建物すべてが江戸時代後期の建築です。店蔵に入ると、まるでタイムスリップしたかのような品々が。店内と外部を隔てる「揚戸(あげど)」は今でも可動するほか、銭函(ぜにばこ)や印絆纏(しるしばんてん)、大正時代の米国製レジスター(これは現在価格に換算すると 1,400 万円くらいするものでまだ使用可能)など、かつての商いの様子がわかるものや、お祖母様の嫁入り道具、行燈、蓄音機なども展示しているため、当時における商家の営みや生活が実感できました。(現当主宮本さんかなりユニークでお話が面白い!!)

今回巡った 3ヶ所とも国登録有形文化財に指定されており、その他にも昭和 37 年まで郵便局として使用されていた郵便局時代の面影を残したままのカフェ「ポステン」等、ゆっくりと時間が流れているような空間が多々あります。是非訪れて頂きたい街でした。

(文化委員会 齋藤)



よつ葉文庫

No.1343 食品添加物よりはるかにこわいゲノム編集食品 天笠啓祐著、ユサブル出版

本の表題が衝撃的ですが、極めて冷静に掘り下げられています。遺伝子組み換え食品の開発の歴史の経緯など、国際間で取り交わされた条約など、部分的に知っていることが整理されています。

遺伝子組み換え農産物、食品のことは知っていても、ゲノム編集食品についてよくわからないことが多いのではないのでしょうか。しかも日本が率先して行っているというのです。

環境問題、生物多様性、飢餓問題など、地球規模の諸課題の対応策として遺伝子組み換え、ゲノム編集技術を開発したと言われていますが、未だに貧困問題は解決されていないのは、「遺伝子組み換え作物の収穫量が、全体的、持続的、または確実に増加したという証拠は何もない」(P206)、「遺伝子組み換え作物の圧倒的多くは収穫量を高めることを目的に作られたのではなく、特定の農薬、または殺虫剤を売るために作られたものである」(P207)に記されている通りだと思います。

アメリカの小麦、日本の米の遺伝子組み換えが成功していないのは、消費者の力だとしています。現状を知り、自分で判断できるようになれる一冊でした。

(顧問 富居)

本ごころ

今年もよつ葉文庫のご利用ありがとうございました。感想をたくさんいただいていますので、一部をご紹介します。

No.1306 マンガでわかる日本の食の危機

現在の日本の食の現状について理解できました。安心安全に食べられるように、食品の安全が守られてほしいと思います。

(S・Sさん)

No.1324 身の回りにある有害物質とうまく付き合いたいです
まずはナプキンからはじめたいなと思いました。有害物質を使わないものはどうしても値段が高くなってしまいうのでなやみどころですね。

(M・Oさん)

No.1335 シベリアのバイオリン

子どもたちに読んであげたい本です。絵もよかったです。「シベリア抑留」と一口に言っても1人1人の体験があるわけで、数字で〇人とくくってはいけなとしみじみ思います。丁寧に1人1人の体験を聴き、戦争の実態をきちんと我がことに感じる事が戦争を止めていく原動力になるのだと思いました。

(津布工さん)

レシピ関連の本は人気があります。こんな本はいかがですか？

- No. 1238 あなたのために いのちを支えるスープ (辰巳芳子著)
- No. 1239 続あなたのために お粥は日本のポタージュです (同上)
- No. 1279 一汁一菜でよいという提案 (土井善晴著)
- No. 1286 食べものがたりのすすめ (湯澤規子著)
- No. 1300 だって！野菜がスキ！！ (永井恵美著)
- No. 1301 からだ整う温活薬膳ごはん (麻木久仁子著)
- No. 1309 おばあたちの台所 (金城笑子著)

No.1338 能登のムラは死なない

完読とはいかなかったけどほとんど読みました。どんな時、どんな状況下でも生きる希望を持ち、楽しんで生きれる人々に学びたいし応援したいです。地に足をつけて生活するすべてを常日頃、きちんと考えて身に付けたいと思いました。

(大和さん)

No.1341 腸元気ごはん

よつ葉で購入したやさいと、スーパーで購入したやさいの味や鮮度の違いを感じています。食べて力がもらえる気がするのはよつ葉のやさいです。オーガニック農産物には、腸を元気にする力や、体内の残留化学物質を減らし、活性酸素除去力が強いことを知り、納得しました。自分の体を守るために「まごわやさしい」実践していきたいです。

(T・Kさん)

よつ葉文庫のご案内

文庫のリストはHPでご覧いただけます。借りたい本は、注文書のご意見ご要望欄に本のナンバー・題名・貸し出し希望を記入して、配送員にお渡しください。(メールまたはお電話も可)。
年内に受け付けた貸し出し希望の本は、
1月5日(月)以降の配送で順次お届けします。



貸し出し、貸出希望(予約)はひとり1点、貸出期間は1週間です。よつ葉文庫で借りている本がある場合、貸出希望は「返却後」に出してください。貸し出し希望が多い本はお待ちいただくことがありますので、ご了解ください。





杉田配送員による救護活動のご報告について

10 月 28 日 配送業務終了後に
対向車線で人身事故を目撃した
杉田配送員が、救護活動を行いま
した。すぐに配送トラック車両を
止めて被害者を救出し、周囲の方
に救急車の依頼をするなど冷静
な判断と迅速な対応を行いました。
地域社会への貢献ができたこ
とに感謝の気持ちを表し、よつ葉
生協にて表彰を行いました。

(理事長 横山)



配送員は、日頃から地域の見守り活動の一端を
担っています。商品のお届け時はもちろん、いざという
時に必要な対応ができるよう日頃から努めています。
これからも地域見守りの一員として、意識を高く持って
皆さんのもとにお届けしてまいります。

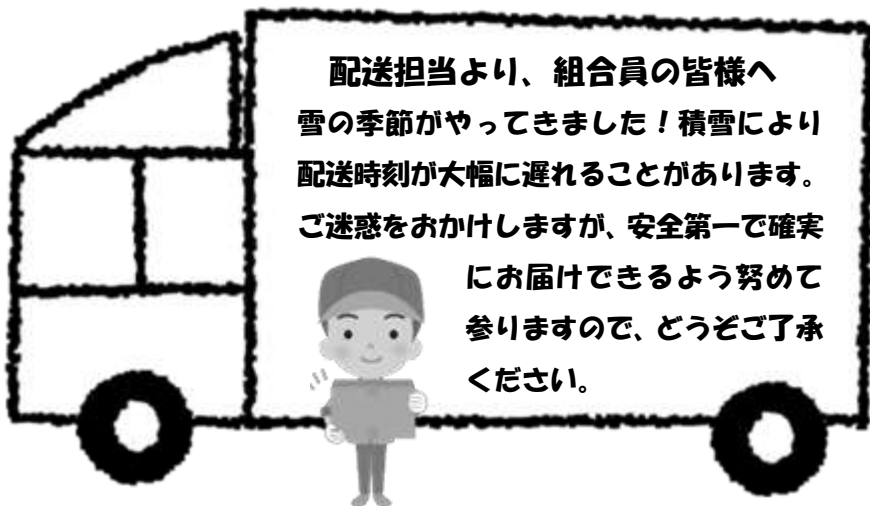
とちぎけんぎかい こうしき エックス
栃木県議会【公式】 X

みんなの暮らしにつながる
とちぎけんぎかい うご
栃木県議会の動きを
ほくがお知らせするまる!!

フォロー
チャンネル登録
してほしいまる!!



「よつ葉生協は、栃木県生協連と栃木県との包括連携協定に基づき、
県の広報に協力しています」



コミュニケーションカード

ご意見、ご要望、何でもどうぞ。
配達時に提出してください。

配送担当者へのメッセージ
カードとしても!!

組合員番号	組合員名

※寄せられたご意見は、よつ葉のサービス向上のために、よつ葉だより、くらら等に掲載させて頂く事があります。

掲載しても ☐ 良い ☐ 悪い

※寄せられたご意見は、よつ葉生協のサービス向上の為、それ以外には、一切使用いたしません。

<よつ葉だより休刊のお知らせ>

年末年始のため 12 月 29 日号～2026 年 1 月
12 日号のよつ葉だよりは、お休みさせていただきます。
ご理解の程よろしくお願い致します。



ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、
共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレ
ゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはあり
ませんので、ご了承ください。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (12 月 1 週分)

ご協力ありがとうございました。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位: 円)

放射能から子どもを守る募金 (900 番)	5, 400
震災孤児を支援する募金 (910 番)	18, 300
「有機農業と国産種子」募金 (920 番)	11, 900
合 計	35, 600

共同購入注文書裏の「10 品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB 注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。
一口 100 円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホーム
ページ



Facebook



Instagram

